

2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月14日

上場会社名 株式会社スタジオアリス 上場取引所 東
 コード番号 2305 URL http://www.studio-alice.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 俊介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 竹崎 周太郎 TEL 06-6343-2600
 経営企画部ゼネラルマネージャー
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	31,087	13.6	5,675	47.9	5,735	42.0	3,573	73.8
2021年2月期第3四半期	27,364	△9.8	3,838	19.5	4,040	24.9	2,056	15.8

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 4,059百万円 (88.6%) 2021年2月期第3四半期 2,152百万円 (19.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	210.42	—
2021年2月期第3四半期	121.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	45,720	29,731	62.3
2021年2月期	37,295	26,520	67.9

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 28,470百万円 2021年2月期 25,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2022年2月期	—	0.00	—		
2022年2月期（予想）				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,460	16.8	5,000	5.7	5,000	0.7	2,650	8.9	156.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	17,185,650株	2021年2月期	17,185,650株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	201,657株	2021年2月期	201,636株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	16,983,998株	2021年2月期3Q	16,984,104株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進む中、緊急事態宣言が解除され、経済活動の回復に期待が高まっているものの、感染再拡大に対して懸念される等、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおける新型コロナウイルス感染拡大の影響による店舗の状況につきましては、緊急事態宣言発令期間中、対象区域において、当社店舗がテナントとして入居している大型商業施設の休業に準ずるかたちで一部店舗が臨時休業いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は31,087百万円（前年同期比13.6%の増加）、営業利益は5,675百万円（前年同期比47.9%の増加）、経常利益は5,735百万円（前年同期比42.0%の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,573百万円（前年同期比73.8%の増加）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(写真事業)

写真事業は、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底した上で、成人式撮影・振袖レンタルサービス『ふりホ』のご予約獲得、前撮り撮影等に注力するとともに、最需要期を迎えた七五三撮影及び七五三お出かけ着物レンタルの獲得に注力いたしました。

国内写真館の出店状況は、移転9店舗、退店7店舗を行い、ショッピングセンター内の区画移動・増床を含む改装を30店舗実施いたしました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、国内こども写真館473店舗（直営店舗464店・フランチャイズ店舗9店）、韓国の子会社におけるこども写真館2店舗を含め、475店舗となっております。

以上の結果、報告セグメントにおける写真事業の売上高は31,062百万円（前年同期比13.7%の増加）となり、セグメント利益は5,817百万円（前年同期比50.0%の増加）となりました。

(衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、連結子会社の株式会社京都豊匠、及び、その子会社である上海豊匠服飾有限公司において、当社グループが強力に推し進めている『ふりホ』に関わる衣装・小物の仕入原価低減に注力するとともに、当社向け衣装の更なる生産効率の向上に努めました。

以上の結果、報告セグメントにおける衣装製造卸売事業の売上高は2,795百万円（前年同期比62.6%の増加）となり、セグメント利益は301百万円（前年同期比134.2%の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ8,425百万円増加し45,720百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加及び流動資産「その他」に含まれる預け金の増加等により、前連結会計年度末と比べ7,210百万円増加の25,380百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産「その他(純額)」に含まれるリース資産の増加等により、前連結会計年度末と比べ1,214百万円増加の20,340百万円となりました。

② 負債の状況

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ5,214百万円増加し15,989百万円となりました。

流動負債は、流動負債「その他」に含まれる前受金の増加及び未払費用の増加等により、前連結会計年度末と比べ4,276百万円増加の10,799百万円となりました。

固定負債は、固定負債「その他」に含まれる長期リース債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ937百万円増加の5,190百万円となりました。

③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ3,210百万円増加し29,731百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結会計期間までの業績は概ね当初計画どおり推移しており、2021年4月13日に公表いたしました連結業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,641,832	17,521,881
受取手形及び売掛金	834,835	2,023,665
たな卸資産	2,312,106	2,203,051
その他	1,403,433	3,648,085
貸倒引当金	△22,352	△16,352
流動資産合計	18,169,855	25,380,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,548,397	7,441,780
その他(純額)	4,808,370	5,750,947
有形固定資産合計	12,356,768	13,192,727
無形固定資産	973,700	922,813
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,283,891	3,221,662
その他	2,731,182	3,222,755
貸倒引当金	△220,062	△219,799
投資その他の資産合計	5,795,010	6,224,617
固定資産合計	19,125,479	20,340,158
資産合計	37,295,334	45,720,490
負債の部		
流動負債		
買掛金	285,908	520,833
短期借入金	—	950,000
未払法人税等	1,035,928	1,377,665
賞与引当金	163,435	48,692
ポイント引当金	107,210	115,090
その他	4,929,700	7,786,752
流動負債合計	6,522,183	10,799,034
固定負債		
退職給付に係る負債	1,171,942	1,228,729
資産除去債務	1,642,026	1,650,991
その他	1,438,408	2,310,637
固定負債合計	4,252,378	5,190,357
負債合計	10,774,561	15,989,392

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	21,451,013	24,175,638
自己株式	△276,416	△276,464
株主資本合計	25,115,996	27,840,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	107,183	488,802
為替換算調整勘定	95,332	141,150
その他の包括利益累計額合計	202,515	629,953
非支配株主持分	1,202,261	1,260,571
純資産合計	26,520,773	29,731,097
負債純資産合計	37,295,334	45,720,490

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
売上高	27,364,009	31,087,750
売上原価	19,096,788	20,772,276
売上総利益	8,267,221	10,315,473
販売費及び一般管理費	4,428,775	4,639,714
営業利益	3,838,445	5,675,759
営業外収益		
受取利息	1,728	1,121
受取配当金	9,129	10,090
受取家賃	16,683	17,234
受取補償金	1,736	18,593
為替差益	983	-
新型コロナウイルス感染症による助成金収入	199,755	29,984
雑収入	50,734	29,251
営業外収益合計	280,750	106,276
営業外費用		
支払利息	23,388	17,635
店舗解約損	54,645	16,012
為替差損	-	12,181
雑損失	795	593
営業外費用合計	78,830	46,422
経常利益	4,040,366	5,735,612
特別利益		
固定資産売却益	2,301	173
特別利益合計	2,301	173
特別損失		
固定資産売却損	-	236
固定資産廃棄損	142,090	132,748
減損損失	165,779	54,434
新型コロナウイルス感染症による損失	496,685	44,638
特別損失合計	804,555	232,058
税金等調整前四半期純利益	3,238,112	5,503,727
法人税、住民税及び事業税	1,310,619	1,973,169
法人税等調整額	△172,531	△101,576
法人税等合計	1,138,088	1,871,592
四半期純利益	2,100,024	3,632,135
非支配株主に帰属する四半期純利益	43,966	58,309
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,056,057	3,573,825

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	2,100,024	3,632,135
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,418	381,619
為替換算調整勘定	6,102	45,818
その他の包括利益合計	52,521	427,438
四半期包括利益	2,152,545	4,059,573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,108,578	4,001,263
非支配株主に係る四半期包括利益	43,966	58,309

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当該事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度に引き続き新型コロナウイルス感染症が流行しており、当社グループにおいても緊急事態宣言期間中に各自治体からの要請等により、一部店舗で休業を行いました。しかしながら、大部分の店舗は感染予防対策を万全にした上で営業を継続しており、業績に大きな影響は受けておりません。今後は、業績が例年通りの水準で推移すると仮定し、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定と異なる可能性があります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当該事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2020年3月1日 至2020年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,307,929	56,080	27,364,009	—	27,364,009
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,052	1,662,981	1,681,034	△1,681,034	—
計	27,325,982	1,719,061	29,045,044	△1,681,034	27,364,009
セグメント利益	3,878,137	128,931	4,007,068	△168,623	3,838,445

(注) 1. セグメント利益の調整額△168,623千円には、固定資産の調整額等△9,340千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△159,282千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては165,779千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2021年3月1日 至2021年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,038,322	49,428	31,087,750	—	31,087,750
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,482	2,746,195	2,770,677	△2,770,677	—
計	31,062,804	2,795,623	33,858,428	△2,770,677	31,087,750
セグメント利益	5,817,231	301,915	6,119,147	△443,387	5,675,759

(注) 1. セグメント利益の調整額△443,387千円には、固定資産の調整額等△266,935千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△176,452千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては54,434千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
当該事項はありません。